



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月14日

上場会社名 株式会社関西フードマーケット 上場取引所 東
 コード番号 9919 URL https://www.kansai-foodmarket.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 克弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 渡邊 学 (TEL) 072-744-5701
 定時株主総会開催予定日 2024年6月20日 配当支払開始予定日 2024年6月21日
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月20日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	385,021	2.9	9,163	54.8	8,709	62.6	5,650	32.5
2023年3月期	374,018	—	5,919	—	5,355	—	4,262	—
(注) 包括利益	2024年3月期 6,350百万円(50.7%)		2023年3月期 4,215百万円(—%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	98.74	—	8.2	5.9	2.4
2023年3月期	73.00	—	6.5	3.7	1.6
(参考) 持分法投資損益	2024年3月期 -百万円		2023年3月期 -百万円		

(注) 2023年3月期の連結経営成績は、当社、イズミヤ株式会社、株式会社阪急オアシス、株式会社関西スーパーマーケット、株式会社KSPの5社からなる連結数値であります。2022年3月期の連結経営成績はイズミヤ株式会社及び株式会社阪急オアシスの2社の通期の業績と、当社、株式会社関西スーパーマーケット及び株式会社KSPの3社の第4四半期連結会計期間の業績を反映しており、対象範囲が異なることから2023年3月期の対前期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	151,845	70,793	46.6	1,240.35
2023年3月期	145,835	66,579	45.7	1,152.05
(参考) 自己資本	2024年3月期 70,793百万円		2023年3月期 66,579百万円	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	14,083	△5,602	△2,355	14,956
2023年3月期	6,994	△3,448	△2,801	8,830

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00	1,045	24.7	1.6
2024年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00	1,028	18.2	1.5
2025年3月期(予想)	—	8.00	—	10.00	18.00		15.8	

(注) 1. 2023年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 8円00銭 特別配当 2円00銭
 2. 2024年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 8円00銭 特別配当 2円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	196,280	2.7	5,000	6.6	4,560	2.0	3,650	△10.0	63.95
通 期	397,000	3.1	10,500	14.6	10,000	14.8	6,500	15.0	113.88

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名)イズミヤ株式会社

当連結会計年度より、当社の連結子会社であったイズミヤ株式会社は、同じく当社の連結子会社である株式会社阪急オアシスを存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2024年3月期	63,858,804株	2023年3月期	63,858,804株
2024年3月期	6,783,598株	2023年3月期	6,066,658株
2024年3月期	57,221,481株	2023年3月期	58,397,125株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「2. 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績の状況	2
2. 今後の見通し	3
3. 企業集団の状況	4
4. 経営方針	5
5. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
6. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(企業結合等関係)	14
(セグメント情報)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
7. その他	16

1. 経営成績の状況

▶連結経営成績

当社の連結経営成績は、売上高385,021百万円（前期比102.9%）、収益認識に関する会計基準等による影響を除外した従前の基準での売上高に相当する総額売上高は399,516百万円（前期比102.8%）、営業利益9,163百万円（前期比154.8%）、経常利益8,709百万円（前期比162.6%）、親会社株主に帰属する当期純利益は5,650百万円（前期比132.5%）となりました。

▶会社別の経営成績

イズミヤ・阪急オアシス株式会社と株式会社関西スーパーマーケットの経営成績については、収益認識に関する会計基準等による影響を除外した数値を記載しております。

両社ともに、曜日販促等を強化し客数の回復に努め、値上げの影響による点単価の上昇もあり当期の既存店売上高は前期実績を上回りました。また、粗利率改善に向けての取り組みと同時に生産性向上に向けての取り組みを継続させました。

イズミヤ株式会社と株式会社阪急オアシスは2023年4月に合併し、イズミヤ・阪急オアシス株式会社となりました。組織の一元化、特に本社・営業本部機能の効率化を進め、10月からは新システムへの統合を終え、店舗タイプ別の品揃えやレイアウトなどの店づくりと運営の標準化をさらに推進しました。特に、デリカ部門や重点販売施策が売上をけん引し、既存店売上高前期比は104.0%（客数102.2%、客単価101.7%）となりました。

販売費及び一般管理費は、新システムの導入や人件費単価上昇により全体では増加したものの、生産性の向上に努めた結果、想定どおりに推移しました。

以上の結果、総額売上高は267,021百万円（前期比103.1%）、営業利益は5,639百万円（前期比170.1%）となりました。

株式会社関西スーパーマーケットは、「健康経営」「生産性の向上」「教育」を3つの柱とし、お客様、従業員、地域とともに環境問題への取り組みや社会貢献を通じて問題解決を行う「トータルソリューション型スーパーマーケット」の実現に取り組み、既存店売上高前期比は103.3%（客数99.4%、客単価103.9%）となりました。

販売費及び一般管理費は、生産性向上を目的とした省力器具統一による備品費及び従業員研修の強化・拡充による教育費の増加により前期実績を上回りましたが、想定どおりに推移しました。

以上の結果、総額売上高132,495百万円（前期比102.3%）、営業利益3,858百万円（前期比133.7%）と売上高、営業利益ともに過去最高となりました。

なお、株式会社関西スーパーマーケットの経営成績は株式会社関西スーパーマーケットと株式会社K S Pとの連結数値となります。

また、連結上の総額売上高及び営業利益は、上記に株式会社関西フードマーケットの販売費及び一般管理費並びに内部取引消去等の連結修正を加えた結果となります。

2. 今後の見通し

2024年度通期の連結経営成績の見通しにつきましては、原材料価格や電気代等エネルギーコストの高騰の影響を踏まえ、売上高397,000百万円、営業利益10,500百万円、経常利益10,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益6,500百万円を見込んでおります。

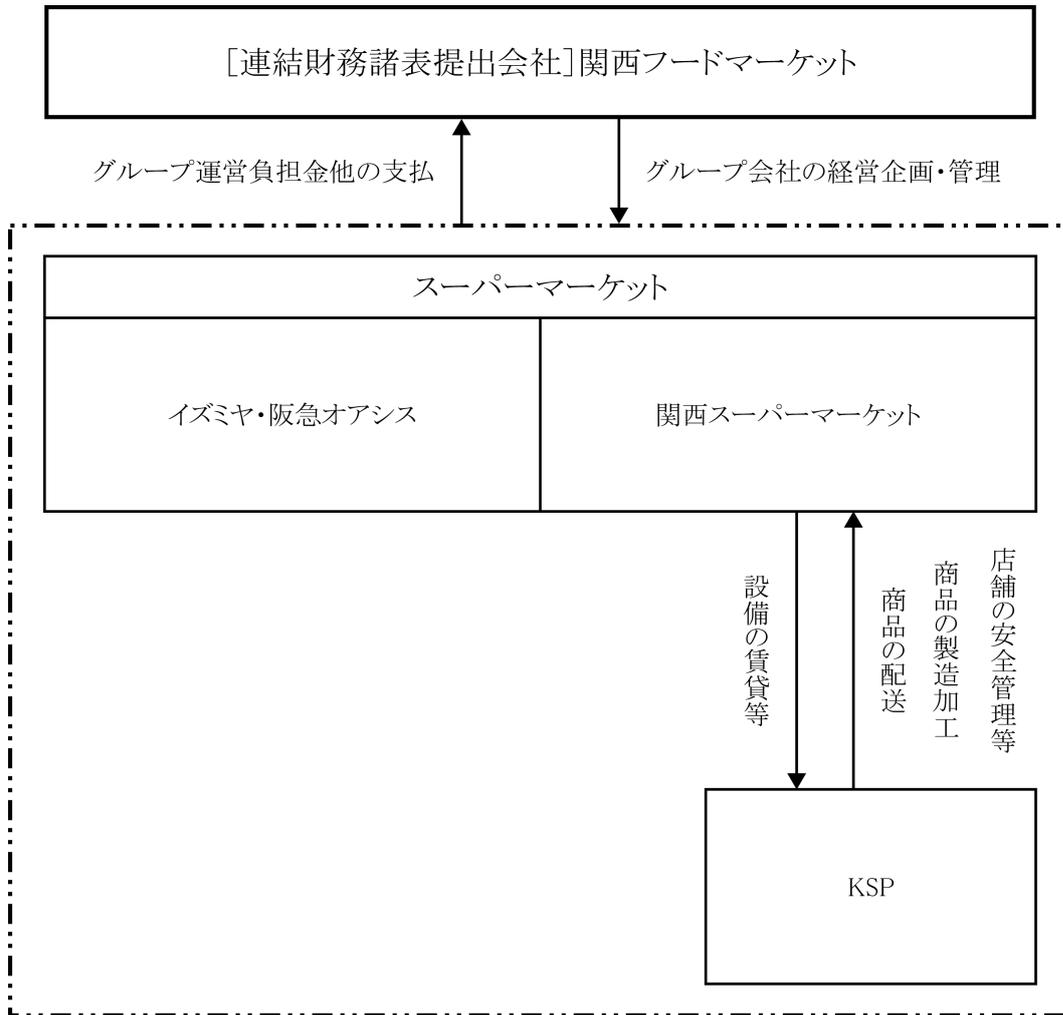
また、当期の配当につきましては、中間配当8円、期末配当10円（普通配当8円、特別配当2円）の計18円とし、前期と同水準といたします。

(単位：百万円)

	第1・2四半期	通期
売上高	196,280	397,000
営業利益	5,000	10,500
経常利益	4,560	10,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,650	6,500

3. 企業集団の状況

事業の系統図は次のとおりであります。



(注) 2023年4月1日付けで株式会社阪急オアシスを存続会社としイズミヤ株式会社を消滅会社とする吸収合併を行い、社名をイズミヤ・阪急オアシス株式会社に変更しました。

4. 経営方針

会社の経営の基本方針

当社はエイチ・ツー・オー リテイリンググループの一員として、「『楽しい』、『うれしい』、『おいしい』の価値創造を通じ、お客様の心を豊かにする暮らしの元気パートナー」というグループビジョンの実現に向け、関西地域の生活者の皆様に「食」を通して貢献するため日々努力を重ねてまいります。

対処すべき課題

食品スーパー業界を取り巻く環境は、地政学的なリスクが原材料価格やエネルギーコスト等に影響を及ぼすことが引き続き考えられる一方で、賃金の上昇は消費の下支えになるものの、事業運営のインフラコストの上昇にもつながら、楽観視できない状況であります。また、少子高齢化や人口減少等による市場の縮小、ECや他業種の参入による競争激化はますます厳しさを増してきており、物価高の中での家計の節約消費に 대응するためには、スピードを増して多様な対応をしていくことが必要になってきていると考えております。

このような環境の中、当社グループでは、「関西スーパー」「イズミヤ」「阪急オアシス」の各屋号がもつお客様との信頼、親和性を維持しつつも、出店地域ごとの特色に合わせた店づくりや品揃え、価格の見直し等を図り、その地域のお客様に最もご利用いただける、お客様にとっての「一番店」となり、その地域でのマインドアップ、シェアアップしていくことを目指しております。

今後、さらなる経営の意思決定の迅速化、事業基盤の強化を図っていくために、商圈、立地、店舗規模に基づく店舗フォーマットの分類の再整理を行い、特にグループが有する製造・開発の機能を十分に活かすとともに、店舗運営、物流、プロセスセンター、システム、決済、本部機能など様々な分野での統合化を図り、より一層の企業価値向上に取り組んでまいります。

そして、いつもそこに「関西スーパー」「イズミヤ」「阪急オアシス」があるとお客様に思ってもらえる店づくりを目指してまいります。

利益配分に関する基本方針

当社は、中長期にわたる適正な財務体質の構築と、当社の目指すスーパーマーケット像実現のための成長投資に必要なキャッシュ・フロー、事業年度ごとの業績を勘案しつつ、株主の皆様へ安定的な利益還元を行うことを重視し、親会社株主に帰属する当期純利益、連結純資産、連結キャッシュ・フローの中長期計画から総合的に判断して最適な成果配分を行うことを基本方針としております。

5. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

6. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,480	17,006
売掛金	13,071	11,225
商品及び製品	6,997	7,016
原材料及び貯蔵品	123	135
短期貸付金	1,325	3,399
未収入金	6,090	6,430
その他	1,729	1,453
貸倒引当金	△186	△282
流動資産合計	39,632	46,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	95,284	95,210
減価償却累計額	△64,147	△65,764
建物及び構築物(純額)	31,136	29,445
機械装置及び運搬具	3,330	3,460
減価償却累計額	△2,238	△2,346
機械装置及び運搬具(純額)	1,091	1,113
土地	42,830	42,530
その他	23,088	22,932
減価償却累計額	△19,405	△19,593
その他(純額)	3,683	3,338
有形固定資産合計	78,742	76,429
無形固定資産		
のれん	1,690	1,183
その他	1,476	1,110
無形固定資産合計	3,167	2,294
投資その他の資産		
投資有価証券	1,226	1,546
長期貸付金	2,981	2,809
差入保証金	12,587	11,931
退職給付に係る資産	834	1,268
繰延税金資産	6,117	8,583
その他	550	601
貸倒引当金	△3	△2
投資その他の資産合計	24,293	26,738
固定資産合計	106,202	105,461
資産合計	145,835	151,845

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,154	28,568
短期借入金	9,781	10,616
1年内返済予定の長期借入金	136	136
リース債務	822	697
未払金	6,429	6,313
未払法人税等	741	1,048
前受金	1,516	1,461
賞与引当金	1,183	1,768
役員賞与引当金	—	5
人事制度改編費用引当金	682	—
店舗等閉鎖損失引当金	45	—
その他	10,925	8,093
流動負債合計	55,418	58,710
固定負債		
長期借入金	972	771
リース債務	9,546	8,848
繰延税金負債	2,699	2,804
役員退職慰労引当金	85	81
長期預り保証金	3,828	3,850
退職給付に係る負債	4,246	3,577
資産除去債務	2,193	2,214
その他	264	192
固定負債合計	23,837	22,341
負債合計	79,256	81,051
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	63,373	62,796
利益剰余金	12,628	17,820
自己株式	△8,973	△10,076
株主資本合計	67,127	70,641
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39	256
土地再評価差額金	△479	△479
退職給付に係る調整累計額	△107	375
その他の包括利益累計額合計	△548	152
純資産合計	66,579	70,793
負債純資産合計	145,835	151,845

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	374,018	385,021
売上原価	259,011	265,272
売上総利益	115,006	119,748
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	37,029	38,050
賃借料	18,780	18,591
運搬費	12,418	12,970
その他	40,858	40,972
販売費及び一般管理費合計	109,087	110,585
営業利益	5,919	9,163
営業外収益		
受取利息	24	24
受取配当金	23	23
受取和解金	—	85
リサイクル材売却益	70	73
その他	265	204
営業外収益合計	384	411
営業外費用		
支払利息	323	306
グループ運営負担金	393	405
その他	232	152
営業外費用合計	949	864
経常利益	5,355	8,709
特別利益		
固定資産売却益	14	257
商品券等整理益	134	—
特別利益合計	149	257
特別損失		
減損損失	1,582	2,695
ソフトウェア等契約解約損	—	1,495
店舗等閉鎖損失	77	72
固定資産除売却損	113	64
人事制度改編に伴う一時費用	798	—
特別損失合計	2,570	4,327
税金等調整前当期純利益	2,933	4,639
法人税、住民税及び事業税	1,441	1,708
法人税等調整額	△2,770	△2,718
法人税等合計	△1,329	△1,010
当期純利益	4,262	5,650
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	4,262	5,650

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	4,262	5,650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	217
退職給付に係る調整額	△53	483
その他の包括利益合計	△47	700
包括利益	4,215	6,350
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,215	6,350
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,862	54,671	8,365	△7,423	65,476
当期変動額					
剰余金の配当		△1,057			△1,057
資本金から剰余金への振替	△9,762	9,762			—
親会社株主に帰属する当期純利益			4,262		4,262
自己株式の取得・処分		△3		△1,550	△1,553
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	△9,762	8,701	4,262	△1,550	1,651
当期末残高	100	63,373	12,628	△8,973	67,127

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	33	△479	△54	△500	64,975
当期変動額					
剰余金の配当					△1,057
資本金から剰余金への振替					—
親会社株主に帰属する当期純利益					4,262
自己株式の取得・処分					△1,553
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	5	—	△53	△47	△47
当期変動額合計	5	—	△53	△47	1,603
当期末残高	39	△479	△107	△548	66,579

当連結会計年度(自2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	63,373	12,628	△8,973	67,127
当期変動額					
剰余金の配当		△577	△457		△1,035
親会社株主に帰属する当期純利益			5,650		5,650
自己株式の取得・処分		1		△1,103	△1,101
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△576	5,192	△1,103	3,513
当期末残高	100	62,796	17,820	△10,076	70,641

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	39	△479	△107	△548	66,579
当期変動額					
剰余金の配当					△1,035
親会社株主に帰属する当期純利益					5,650
自己株式の取得・処分					△1,101
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	217	—	483	700	700
当期変動額合計	217	—	483	700	4,214
当期末残高	256	△479	375	152	70,793

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,933	4,639
減価償却費	4,763	4,519
減損損失	1,582	2,695
固定資産除売却損	49	40
固定資産売却益	△14	△257
のれん償却額	507	507
退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少)	△22	△1,103
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△288	585
人事制度改編費用引当金の増減額 (△は減少)	682	△682
受取利息及び受取配当金	△48	△48
支払利息	323	306
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,406	1,846
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△221	△30
仕入債務の増減額 (△は減少)	△55	5,414
未払消費税等の増減額 (△は減少)	352	△81
前受金の増減額 (△は減少)	△229	△54
その他	152	△2,325
小計	9,060	15,972
利息及び配当金の受取額	31	32
利息の支払額	△317	△299
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,780	△1,621
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,994	14,083
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,650	△1,550
定期預金の払戻による収入	2,550	1,150
有形固定資産の取得による支出	△4,081	△4,633
無形固定資産の取得による支出	△219	△148
有形固定資産の売却による収入	15	920
資産除去債務の履行による支出	△60	△110
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	599	△2,073
長期貸付金の回収による収入	192	187
差入保証金の差入による支出	△125	△199
差入保証金の回収による収入	330	854
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,448	△5,602

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,781	835
リース債務の返済による支出	△955	△822
長期借入金の返済による支出	△959	△209
自己株式の取得による支出	△1,611	△1,124
配当金の支払額	△1,057	△1,035
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,801	△2,355
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	744	6,125
現金及び現金同等物の期首残高	8,086	8,830
現金及び現金同等物の期末残高	8,830	14,956

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(共通支配下の取引等)

連結子会社間の吸収合併

当社は、2022年11月1日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社阪急オアシスを存続会社、同じく当社の連結子会社であるイズミヤ株式会社を消滅会社とする吸収合併を行うことを決議し、2023年4月1日付で吸収合併及び存続会社の商号変更を行いました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合企業の名称	株式会社阪急オアシス
事業の内容	スーパーマーケットの運営
被結合企業の名称	イズミヤ株式会社
事業の内容	スーパーマーケットの運営

(2) 企業結合日

2023年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

株式会社阪急オアシスを存続会社、イズミヤ株式会社を消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

イズミヤ・阪急オアシス株式会社

(5) その他取引の概要に関する事項

株式会社阪急オアシス及びイズミヤ株式会社は、従来から、お客様起点で店舗フォーマットを見直し、オペレーションの再構築を実現するため、事業構造改革に取り組んでおります。

この度、更なる経営の意思決定の迅速化、事業基盤の強化を図るため、両社を合併することといたしました。2023年10月には新システムに統合を終え、店舗タイプ別の品揃えやレイアウトなどの店づくりと運営の標準化をさらに推進してまいります。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(セグメント情報)

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)及び当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

当社グループの事業は、商品の種類、性質、配送及び販売方法等の類似性から判断して、スーパーマーケット等による商品販売及びその付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,152.05円	1,240.35円
1株当たり当期純利益	73.00円	98.74円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

		前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	4,262	5,650
普通株主に帰属しない金額	(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	4,262	5,650
普通株式の期中平均株式数	(千株)	58,397	57,221

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

7. その他

役員の変動

(1) 代表取締役の変動

該当事項はありません。

(2) その他の役員の変動(2024年6月20日付予定)

・新任取締役候補

取締役 中西 淳

(現 株式会社関西スーパーマーケット 代表取締役社長)

・退任予定取締役

取締役 福谷 耕治

(現 取締役)